

徳島県農業版BCP「直下型地震編」(案)

1 目 的

熊本県では、直下型地震により、多くの農地・農業用施設に大きな被害が生じた。

本県においても、吉野川北岸地域には、中央構造線活断層帯があり、ここを震源に直下型地震が発生するとブランド産地を含む広範囲の農業地帯が大きな被害を受けることが懸念される。

このため、徳島県農業版BCPに、被災県の対応や対策、専門家や現地へ派遣した本県職員の意見を取り入れ、早期復旧と早期営農再開のため必要な取組みを定めた「直下型地震編」を追加する。

2 農業版BCP「直下型地震編」の内容

BCP本体と関連マニュアルを組み合わせて運用

第1 総則

- 中央構造線を震源とする直下型地震への対応

第2 県農業版BCPの策定及び運用体制

第3 農業用施設の把握

- 中央構造線エリアにある農業用施設
(一覧表、位置図)

第4 非常時優先業務

- 応急業務として直下型地震発生時の被害状況の情報伝達
- 熊本県の応急対策として仮廻し水路、ため池の水位低下の写真を掲載 等

第5 平時に行う事前対策

- 施設管理者の事前の取組みとして
 - ・被害箇所の想定や応急対策の方法について事前に検討する項目を整理
 - ・2次災害の防止のための検討項目を整理
- 土地改良区BCPの策定推進
- 代替作物について（熊本県事例を掲載）
- 受援体制の構築について検討すべき項目を整理

第6 利水者相互の施設融通

第7 関係団体BCPとの連携

第8 業務継続力の向上

- 訓練・研修 等

◆策定のポイント

◎被害が想定される主要施設のリストアップ

- 中央構造線エリアの農業用施設

- ・揚水機場17箇所
- ・ため池45箇所 等

◎熊本地震で明らかとなった課題への対応

- 用排水施設における対応

- ・被害箇所を想定し、応急ポンプや仮廻し水路の設置
- ・応急資材の確保
- ・2次災害の防止対策 等の検討

- ため池における対応

- ・緊急放流水位の検討
- ・ハザードマップの整備 等

◎専門家や現地派遣職員の意見反映

- 代替作物の検討

- ・栽培可能な作物や地力増進作物の検討

- 受援体制の構築

- ・応援職員と本県職員の業務の整理
- ・移動手段、調査機材の提供 等

関連マニュアルと一体的に運用

徳島県土地改良区BCPマニュアル

農業用施設管理者である「土地改良区」におけるBCP策定のための「ひな形」となるマニュアル

ため池緊急点検マニュアル

被災時におけるため池緊急点検マニュアル

3 今後のスケジュール

- ・徳島県農業版BCP対策協議会により決定
- ・運用開始
- ・普及啓発，研修，訓練等の実施

3月中

4月～

4月～